



2014-2015年度 RI テーマ
ロータリーに輝きを
「Light Up Rotary」

2014-15 RID 2770 ガバナーエレクト 濱野 英美 (大宮シティ)

ゲイリーC.K. ホアン（黄其光） RI会長エレクト



台湾台北RC出身

Taiwan Sogo Shinkong Security 株式会社、Shinkong Real Estate 株式会社、
P.S. Insurance Agency 株式会社 会長、台北ライフライン協会専務理事

1976年入会以来、RI副会長、理事、ロータリー財団管理委員、地区ガバナー、国際協
議会研修リーダー、地域セッションリーダー

1986-87年度第3480地区ガバナー 19クラブ(香港、台湾、マカオを含む)を結成し

100名を超える大口寄付者を誕生させました。コリーナ夫人と3人のお子さん、お孫さん
がいます。

RIテーマ「ロータリーに輝きを」

Light Up Rotary



「ただ座って暗闇を呪うよりも、ろうソクを灯したほうがいい」 孔子

孔子は「世界で最初のロータリアン」

「ろうソクを灯するのがロータリーです、私が1本、あなたが1本、こうして120万人の会員全員がろうソクを灯しましょう。力を合わせれば世界を光で輝かせることができます」

それぞれの地域で「ロータリーデー」を実施したり、ローターアクトやインターアクトのメンバーと一緒に奉仕プロジェクトを実施することで、クラブが「ロータリーに輝き」をもたらすように呼びかけました。

C. K. ホアン R I 会長のテーマを噛み砕き、
2014-15年度 の活動重点目標として

1. 会員増強（特に若い会員、女性会員）
2. 財団目標のポリオ撲滅への支援
3. 青少年奉仕活動への支援（ロータリーデーの活用）
4. 人づくりのための育成支援（職業奉仕の理解）
5. R I 戦略計画の理解と実施



2014-15年度

地区活動方針

ロータリーは人づくり そして奉仕

- 小さな奉仕活動でも、地域社会で国際社会で奉仕活動を推進しましょう。
- 今、当地区もいろいろな観点で**過渡期**にさしかかっています。
◦
- 特に各クラブ会員、地区役員**の世代交代**の時期にきております。
- 奉仕活動をするのも人間、その恩恵を受けるのも人間です、ただ漫然とした活動でなく、昨日までの殻を破って人間性豊かな愛のある奉仕活動でなくてはなりません。



2014-15年度

地区活動方針

ロータリーは人づくり そして奉仕

- 今までの殻を破って、脱皮し新たな奉仕活動に邁進しロータリーを輝かせ真のロータリアンになり、活力ある、輝いているクラブにしましょう。各クラブで増強に精進し、人材育成し奉仕活動に邁進しましょう。
- そうすればおのずから活力ある元気なクラブになり輝くまずは例会で自らを高め素晴らしい仲間を得て、地域で、なくてはならない存在感あるクラブになりましょう。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」

1. ポールハリスの考えたロータリーとは？
2. ロータリー運動の真髄は、倫理運動です。
3. ロータリーの基本は、奉仕と親睦です。
4. 最も重要なロータリー精神は、寛容の精神です。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
地区目標

1. 会員増強、特に若い会員と女性会員の入会を増やす。
また、退会防止にも取り組む。
2. 財団目標のポリオ撲滅への支援。
3. 青少年奉仕活動への支援。（ロータリーデーの活用）
R A C, I A C、R Y L A、青少年交換プログラムの若い青少年、
財団奨学生、V T T 研修生達は明日のロータリアンであるので力を注入
4. 人づくりのための育成支援。
5. R I 戦略計画の理解と実施。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
数値目標をたてよう

- * 特に若い世代の会員、女性会員の増強を。
- * 地域社会、海外での革新的な奉仕活動を。
- * 忘れてはならない東日本震災支援ではニーズに対応した復興支援を。
- * 基本である例会の充実と出席率の向上を。
- * 職業奉仕、特に企業倫理・個人倫理の確立を。
- * クラブの活性化を図る、メーキャップツアーや合同例会の実施を。
- * ロータリー財団及び米山記念奨学会への目的と手段の理解。
(寄付とプロジェクトの両方の理解)
- * 新会員・ベテラン会員共に研修会の充実、特にRLIへの参加促進を。



2014-15年度 地区運営方針

「ロータリーの原点に戻ろう」

数値目標をたてよう

- 会員数 3000名
- 出席率 90%目標(メーキャップを活用)
- 財団寄付額 年次寄付 200ドル/1人当り
- ポリオプラス 50ドル/1人当り
- ベネファクター 1名/1クラブ当り
(但し2名/50名以上のクラブ)
- 米山寄付額 25,000円/1人当り(普通寄付5,000円)



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ガバナー補佐の「役割」

1. ロータリー年度の開始前に次期クラブ会長と会合を持ちCLPを見し、クラブ目標について討議し「効果的なクラブになるための活動計画の指標」来るべき年度の目標を設定して下さい。
2. ガバナーの公式訪問に際して開かれる各クラブ協議会に出席する。
3. 各クラブを定期的に訪問し、クラブの業務、リソース、資金を実務的な方法で扱うことについて話し合う。
4. クラブレベルを超えてロータリーで奉仕できる指導者を育成する。

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ガバナー補佐の「責務」

1. 地区目標の設定を援助する。
2. ガバナーのクラブ公式訪問のスケジュールを調整する。
3. クラブの強み弱み、目標に対する進捗情報をガバナーに伝える。
4. 地区の各種会合に出席する。
5. ロータリー財団のプログラムや行事、募金活動に参加する。
6. 将来のリーダーの育成を助長する。
7. クラブの状況について次期ガバナー補佐に情報を引き継ぐ。

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ガバナー補佐へ「お願い」 1

1. 担当のグループ内のクラブのメーキャップの推奨
2. 合同例会の実施支援
3. 会員増強はターゲットの一番で、3000名を目指す
4. 革新的奉仕プロジェクトの増加
5. 新会員のオリエンテーションの実施
6. 強調月間に財団や米山奨学生を卓話に
7. 地区セミナー、IM、地区大会、世界大会に参加を推進する
8. クラブホームページの見直しと作成の促進
9. 寄附の目標達成のための指導、特に寄付0クラブを無くす
10. ガバナー補佐月報の提出
11. 会長・幹事会の議事録の提出



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ガバナー補佐へ「お願い」 2

- ❖ 国際ロータリーの会員は、各クラブです。地区はクラブが効果的なクラブ、活性化したクラブ、元気なクラブを構築するためにお手伝いするために存在します。
- ❖ クラブ会長・幹事の皆さん、皆さんのクラブが親睦を深め、より良い奉仕活動を推進できるように一緒に頑張ってください。各部門を以下のように1年間展開して行きたいと考えております。基本的には、田中徳兵衛年度、渡邊和良年度を引継ぎ不易流行の概念で遂行してまいります。

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
管理運営部門 クラブ活性化委員会

- ✧ ロータリーの基本は例会出席にあります、効果的な例会運営と出席率向上のための手段・方策を考えて下さい。効果的なクラブ例会運営や高出席率クラブの事例発表の場を設営して下さい。
 - 各クラブに研修リーダーを任命し、全会員を対象の研修会を実施して下さい。
 - ガバナー補佐と連携し、グループ内での研修も企画して下さい。
 - メーキャップツアー、合同例会、卓話バンクの有効利用の企画して下さい
- - R I 会長賞にチャレンジ、R I 戦略計画の理解と実施の推進を進めて下さい。
 - 充実したクラブ運営を実施しているクラブを紹介し発表の場を設けて下さい。
 - 地区、グループ、クラブで実施する「ロータリーデー」を作して下さい。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
管理運営部門 R L I 運営委員会

R L I の内容の理解、難しいものではなくあくまでも勉強会でスキルアップの手段であることを P R して下さい。

- ・全てのクラブの多くの会員が参加できる方法を考えて実行して下さい。特に会長エレクト、近い将来クラブの指導者となる会員の参加を期待します。
- ・ R L I の改定テキストを有効活用して下さい。
- ・ R L I 日本事務局であることを認識し他地区連携も視野に入れて下さい。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
広報部門 広報委員会 ロータリー友

- ・ 公共イメージと認知度の向上
 - ・ クラブホームページの見直しと新規作成の指導
 - ・ 地区内行事、各セミナー等への取材と投稿
 - ・ ガバナー月信、ロータリーの友への投稿
 - ・ 地元メディアの活用を考慮して下さい
 - ・ 青少年奉仕の活動状況をメディアに紹介し記事の掲載を努力して下さい
 - ・ 評価が出来、かつ革新的奉仕活動地域住民にロータリーを浸透させて下さい
 - ・ ホームページに例会の内容を掲載しメンバーシップの増加に寄与させて下さい
 - ・ 年度末にメディアに掲載された記事の広報活動記録集を作成しましょう
 - ・ ロータリーとは何か、何をする団体なのかを易しい言葉で説明できるよう「より効果的な伝え方」を研究し、会員増強にも貢献しましょう
 - ・ ロータリーの友への投稿の推進と記事の紹介



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
広報部門 広報委員会 ロータリー友

* 広報委員会の姿勢

- ・ 広報に利用できる地区内のプロジェクトや奉仕活動特に「ロータリーデー」を常に把握しておくこと
- ・ 報道機関・地域のリーダー・協力団体・一般の人々など外部にロータリー情報を伝える

* ロータリーは人にあり、人の道は心にあり、人の心は行いにあり

- ・ **ロータリー広報はロータリアン一人ひとりの行動の中にあり、その生活の姿勢が立派であれば、これに勝る広報はないのです。（佐藤 千壽 P G）**

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
会員増強維持部門 会員増強維持委員会 1

年度始めに各クラブの増強目標を立案しましょう。
ガバナー補佐、クラブ全員の協力が必要です。

未充填の職業分類をもう一度洗い直し、時代に即した職業分類を参考にして下さい。

若い世代、女性会員の入会を促進して下さい。

入会3年未満の退会者をなくすための努力をして下さい。登録だけでなく参加することが大切です。

- ・ 他クラブへのメーキャップツアー
- ・ 合同例会の実施
- ・ 各種セミナー・IM・地区大会・国際大会への参加促進



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
会員増強維持部門 会員増強維持委員会 2

- 最も基本である例会出席を踏まえ会員の資質を高めましょう。
例会は自分磨きの場です。
- 各クラブの地域性、取り巻く環境に即応した増強計画を立案し増強計画を講じて下さい。
- 新会員の集い、女性会員の集い、若い会員の集いを企画し同期の絆を深め、退会防止に努めましょう。
- 以前在籍していて止む無く中途退会した元会員へアプローチし、再入会を勧めて下さい。
- 設立間もない新クラブ、学友クラブへの継続的支援を。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
奉仕プロジェクト職業奉仕部門 職業奉仕委員会

- ・ 職業人と専門職種の集まりであるロータリークラブにおいて職業奉仕の重要性、その哲学は今さら説くことではありませんが、最近のロータリーは職業奉仕が片隅に追いやれている傾向にあります。ロータリーの原点に戻り職業奉仕を易しく解説し理解して頂き人づくり一助にして頂きたい。
- * ロータリーの根幹である職業奉仕、
その倫理性・道徳性・高潔性の保持推進となるセミナーの開催を。
- * 職業奉仕は実践です、そのためのお手伝いを。
- * 今、問われる企業の社会貢献、社会的責任を理解して頂きましょう。
- * 若い世代への職業情報、中高校生の3・5 daysチャレンジの推進。
- * 各クラブへの月間卓話。
- * できれば以前あった地区職奉ニュースの復活を（年数回発行）

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
奉仕プロジェクト社会奉仕部門 地域社会奉仕委員会

クラブの東日本震災復興支援活動を支援しましょう

地区として東日本震災復興支援を推進し、青少年奉仕部門とも共同実施

ロータリー財団部門と協力して地区補助金の効果的な活用方法

地区大会において震災被災地域の特産品の販売を支援

ペットボトルキャップ回収キャンペーンを主導しポリオ撲滅に協力

腎・アイバンクの賛助会員登録に協力

昨年度実施の地域社会奉仕事業アンケート調査資料を参考に今後の活動の資料にして下さい（早い時期にアンケートを実施）

クラブが実施する社会奉仕活動の資金調達のためチャリティー等への協力



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ブライダル委員会

・ クラブと協力して登録者を増やしましょう

ブライダルコーディネーターの方々と協力し費用対効果を考えながら多くの効果を期待します

少子高齢化のまっただ中、大きくは日本の将来のためを考え夢を形にする意義を伝え、広報にも力を注ぎましょう

地区大会でカップル、親子を招待し委員会の存在をアピールしましょう

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
奉仕プロジェクト国際奉仕部門 国際奉仕委員会

✦ 各クラブが国際奉仕プロジェクトに参加できるように指導して下さい

ロータリー財団と協力して、グローバル補助金、地区補助金を有効活用できるように国際奉仕活動の推進をして下さい

海外クラブ、海外地区との交流を支援して下さい

国際奉仕活動の事前調査、事後検証を確実にして下さい

国際奉仕活動の事例発表会を企画し多くのクラブが今後、奉仕活動が出来るように指導して下さい

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
奉仕プロジェクト国際奉仕部門 国際交流委員会

- ・ 国際大会参加を推進。田中徳兵衛 P G の指示の下で、多くの人に参加できるような環境を整備して下さい。(2015年6月5日～8日 ブラジル サンパウロ市)

姉妹地区の韓国3750地区との交流の実施 3750地区大会：2015年5月21日～22日の予定

海外姉妹・友好クラブの紹介の促進

北 清治 R I 理事輩出地区としての十二分な対応・支援

海外からのお客様（ロータリー関係）への接待とおもてなし

日韓・日台親善会議はありません



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
青少年奉仕部門

- ・ 第5の奉仕部門として認証されたこの部門においては全てのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己啓発といった青少年の基本的なニーズを支えるプロジェクトに取り組むように奨励されています。

より良い未来を確かなものにするために生活能力を高めることによって青少年の将来への準備をさせることは、ロータリアンの責務であります。

どの委員会も若い人たちが対象です、この時期からの人づくりの大切さを理解して貫きましょう。

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
青少年奉仕部門 青少年育成・インターアクト委員会

韓国3750地区との相互交流の実施

中高校生の職場体験実習

東日本震災復興支援への参加

危機管理への十分な対応

「ロータリーデー」への積極的参加を

新設インターアクトクラブへの支援

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
青少年奉仕部門 ローターアクト委員会

✧ 18歳から30歳までの青少年のためのR Iの奉仕プロジェクトです。

各ローターアクトクラブの活性化への支援

地区内ローターアクトクラブの連絡調整の緊密化

提唱ロータリークラブとR A Cの関係強化

韓国3750地区とのローターアクトの相互交流

「ロータリーデー」への積極的参加を

危機管理への十分な対応

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
青少年奉仕部門 RYLA委員会

ロータリー青少年指導者養成プログラム

対象年齢は14歳から30歳までの青少年。若い人の指導力及び善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としている。ロータリーからの人づくりのアプローチです。ロータリー精神を伝えましょう。

IAC, RAC、青少年交換を含め多くのクラブからの研修参加を勧める

東日本震災復興支援にからめた研修会の開催

米山・財団奨学生との交流促進

危機管理への対応

「ロータリーデー」への積極的参加を



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
青少年奉仕部門 青少年交換委員会

- ✧ 15歳から19歳までの青少年に外国を訪問したり留学する機会を提供し国際理解、国際親善、世界平和を認識して貰う。
- * 多くの皆さんに感動を共有して頂きたい、従って今年度も20名の交換を目指します。
- * ロータリアンの子弟が参加できる唯一の海外研修プログラム、広報活動が大事です。
- * ロータリアンは勿論、それ以外の一般市民のホストファミリーを発掘して下さい。
- * 派遣、受け入れにおける危機管理の徹底を。
- * ローテックスとの連携強化を。
- * 教育委員会との連携・関係強化と理解強化
- * 新しいスポンサークラブの発掘。
- * 地区委員の後継人材の育成。
- * 留学生や派遣候補生の「ロータリーデー」への積極的参加を。
- * オリエンテーションの充実。

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ロータリー財団部門 1

- ❖ ロータリーはどんな団体ですか？と問われた時、貴方はどう答えますか？田中作次RI元会長はこう述べています。「ロータリーとは、人々が世界をより良くする方法である」、「ロータリーの役割とは、世界で平和を築くことです」

ロータリーは、奉仕団体でもなく、ボランティア団体でもなく、慈善団体でもありません。ロータリーとは、「**人づくりの団体**」なのです。

唯一お金を集める部門があります。（日本では米山記念奨学部門もあります）それがロータリー財団部門なのです。この部門で最初に寄付を集めそれを使用したのがロータリー財団における奨学生だったのです。人づくりにために寄付を集めたのです。そのような意味で目的と手段をしっかりと理解して活動していきましょう。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ロータリー財団部門2

❖ 2014-15年度 ロータリー財団の目標

- ポリオを撲滅する。今こそ目標を達成しよう。
- 継続的な寄付を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。
- 継続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの発展を確かなものとする。
- ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて、世界理解、親善、平和を育む。
- ロータリー財団の未来の健全性は自分たちにかかっていることを協調する。

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ロータリー財団部門 3

- ❖ 財団の目的を再確認し多くの方に寄付をお願いし、人づくりの意味を十分理解して貰いましょう。
- 財団月間での卓話でプロジェクトを理解して貰いましょう。
- ロータリーカードの普及促進しましょう。
- 財団奨学生を卓話者として派遣しましょう。
- 社会奉仕部門、国際奉仕部門と緊密な協調をしましょう。
- グローバル補助金を使用でのV T T派遣を推進しましょう。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
ロータリー財団部門 4

- ❖ 分かりやすい財団マニュアルの作成しましょう。
過去の奉仕プロジェクトの整理をしましょう。
財団奨学生学友名簿の整理しましょう
2570地区との合同オリエンテーションの実施をしましょう。
革新的なプロジェクトへの参加促進を行いましょう。
未来の夢計画実行後のフォロー体制の構築しましょう。
報告書、諸帳簿等監査への確実な対応しましょう。
危機管理への対応を必ずしましょう。

2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
米山記念奨学部門 1

- ✧ 国際親善と世界平和に寄与するために始まったこの事業も半世紀以上の歴史を持つ日本最大の民間国際奨学事業となりました。

R I が承認した多地区合同活動でありその財源はロータリアンの寄付が支えています。寄付増進によって奨学生数増加、それによって理解促進というサイクルになっています。絶大なるご理解ご協力をお願いします。世界平和の架け橋を担う事業で多くの皆さんが感動できるプログラムです。



2014-15年度 地区運営方針 「ロータリーの原点に戻ろう」
米山記念奨学部門 2

- 事業内容の素晴らしさを紹介し寄付の増進を。
全クラブに米山奨学生を派遣し卓話を。
部門セミナーでカウンセラーの役割の理解を。
指導教官、指定校との密接な関係の構築を。
奨学生選考時に偏った国にならないように出来るだけ配慮して下さい。
奨学生にはクラブ例会に毎回参加しロータリーを早く理解させましょう。
学友名簿の整備し、ホームカミング制度の活用を考えて下さい。
目的と手段を理解して、多くの世話クラブの人づくりに貢献しましょう。
「ロータリーデー」への積極的参加を。



2014年—15年度 地区運営方針 ロータリーの原点に戻ろう



2014年—15年度 地区運営方針 ロータリーの原点に戻ろう



2014年—15年度 地区運営方針 ロータリーの原点に戻ろう

